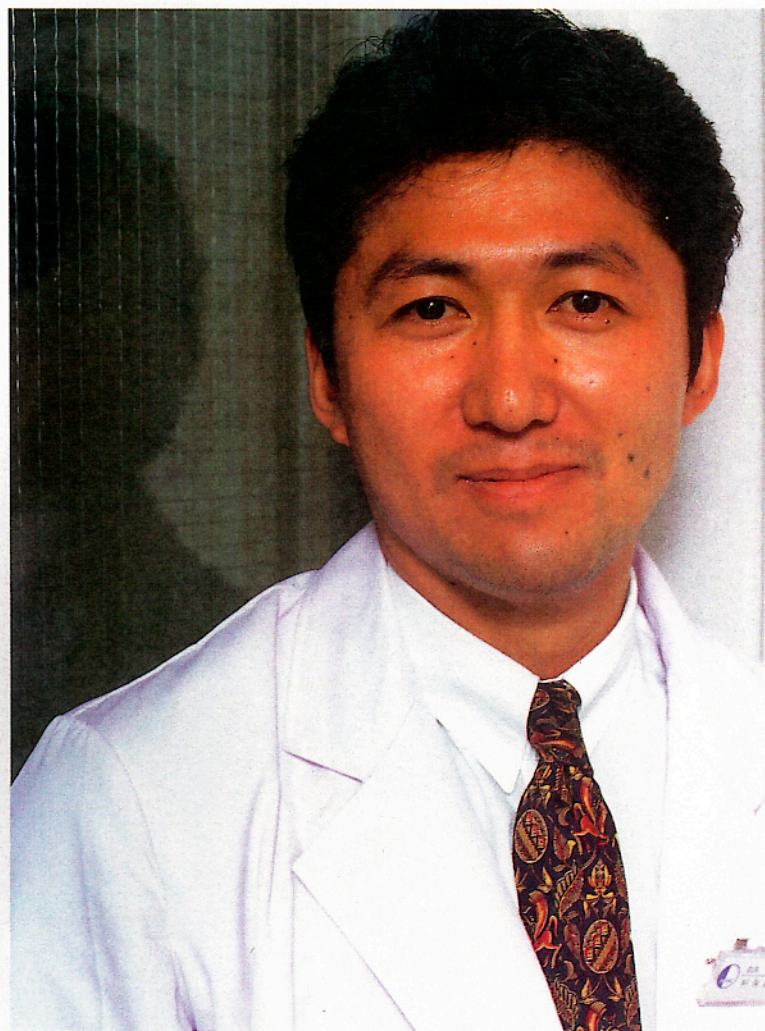


人生を有意義に生きるための 抗加齢療法

北青山ディークリニック

加齢は、皮膚のしみやしわだけで測れるものではない。内臓疾患や動脈硬化など、加齢によって起こる病気をどう乗り越えるか。外観だけの若返りのみならず、内科的な抗加齢療法にも意欲的に取り組んでいるのが「北青山ディークリニック」だ。

写真・NOBU



「本来、医療の目指す姿は予防医療である」と阿保院長は語る。

北青山ディークリニックは、Day Surgery(日帰り手術)、Daily Health care(予防医学)、Dermatology(美容皮膚)の3つの分野において、質の高い医療行為を受けられるクリニックとして、2000年に誕生した。経験豊かな外科医である阿保義久院長を始めとして、脳神経外科、循環器内科、消化器内科、皮膚科、そして産婦人科の医師たちが連携し、サポートする体制は、医療を受ける立場から強い信頼を寄せられている。

そのクリニックが、今年春より抗加齢に関して、予防医学的な見地と美容医療的な見地の双方から療法を行う体制を整えた。DNA検査、体内年齢検査、成長ホルモン(HGH)補充療法、キレーション療法、スーパードットセラピー、ボトックス・ヒアルロン酸療法などがその中心となる。

中でもキレーション療法は、動脈硬化の予防、改善に大きな効果を与えているものだ。「キレーション療法はアメリカでは、すでに50年前から動脈硬化を改善する療法として行われてきました。薬としては日本にもあるもので、体内に過剰にたまった鉛を体外へ排出する治療に使われています。それが動脈硬化にも、めざましい効果があることがわかってきたのです。動脈硬化は、年齢を重ねれば誰にでも起こる現象です。しかし昨今、実年齢以上に血管が老化してしまっている人が多く見られます。血管の老化が頭蓋内で起これば脳梗塞を、心臓に起これば心筋梗塞を起こす危険度が増します。これらを予防するには、内科の見地から加齢を防ぐことが効果的です」

キレート(包み込む)して、体外に排出する作用がある。点滴は1週間に1~3回のペース。一回に要する時間は約1時間である。めだつた副作用は認められず、動脈硬化を改善する。不要金属のフリーラジカル化により起こされる、さまざまな体内へのダメージを取り除くことにより症状を改善する。

予防医療もしくは抗加齢医療を希望する方は、まず、遺伝子検査、体内年齢検査などで遺伝子の発病リスクと細胞の酸化障害を評価する。必要に応じてMRIやCT検査を含めたドックもコーディネートされ、その検査結果に応じてどのような療法が適当か判断される。そしてHGH補充療法、キレーションなどの抗加齢医療が個別にカスタマイズされるのだ。また、このような内科的なアプローチのみならず、皮膚科・形成外科的に直接皮膚への若返り療法も提供している。生き生きと健康に過ごすには、精神面での健康、すなわち美容面での若返り術の提供も、重要な医療サービスのひとつであると北青山ディークリニックは考えているからだ。

しみ、しわ、たるみの改善には、進化した最新の光治療器であるスーパーフォト、既に定評のあるヒアルロン酸・ボトックス注入、最も強力な若返りホルモンであるHGH注射そしてヒト胎盤由来のプラセンタ注射を提供している。

年齢を重ねても、いつまでも若々しく、生き生きとした人生を実現するために、総合的な予防医療、抗加齢医療に大きな期待をしたい。